

別紙標準様式（第7条関係）

会 議 録

会議の名称	令和7年度 枚方市社会福祉審議会 第2回地域福祉専門分科会
開催日時	令和8月2月25日（水） 10時00分から12時00分まで
開催場所	枚方市役所 別館4階 第4委員会室
出席者	所めぐみ会長、末岡妙子職務代理者、井手祐子委員、亀井信順委員、 田村正治委員、福岡眞智子委員、古満園美委員、宮川和香子委員、 若槻美可委員
欠席者	鶴浦直子委員
案 件 名	1. 枚方市地域福祉計画（第5期）の進行管理に係る関連事業について 2. その他
提出された資料等の 名称	<会議資料> 資料1 枚方市地域福祉計画（第5期）の進行管理に係る関連事業に ついて 参考資料1 市政モニターアンケート結果報告書 参考資料2 枚方市地域福祉計画（第5期）成果指標一覧 参考資料3 枚方市地域福祉計画（第5期）進行管理に係る成果指標 の目標値算出根拠について
決定事項	委員の意見を踏まえたうえ会長一任で決定とする。
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録等の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	2名
所管部署 （事務局）	健康福祉部 健康福祉政策課

審 議 内 容	
発言者	発言の要旨
会長	<p>皆様、おはようございます。定刻になりましたので、ただいまから令和7年度（2025年度）第2回枚方市社会福祉審議会地域福祉専門分科会を開催いたします。</p> <p>早速ではございますが、開催に当たり上田健康福祉部長よりご挨拶をお受けします。</p> <p style="text-align: center;">【健康福祉部長 挨拶】</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の審議会の委員の出席状況について、事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>ただいまの出席委員は9人です。委員定数10人のうち、2分の1以上の出席をいただいておりますので、枚方市社会福祉審議会条例第7条第3項の規定により、審議会は成立していることをご報告いたします。</p>
会長	<p>次に、本日の傍聴者について事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>傍聴者数は、2名となっています。</p>
会長	<p>それでは、案件1「枚方市地域福祉計画（第5期）の進行管理に係る関連事業について」、案件内容が多いため、案件を途中で区切り、「1. 市政モニターアンケートの実施結果」について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">＜案件1の1について説明＞</p>
会長	<p>ただいま、案件1の1である「市政モニターアンケートの実施結果」について、事務局より報告がありましたが、何かご質問等はございますか。</p>
委員	<p>資料1の6ページ「地域活動やボランティア活動について」の結果を見ると、40代で地域活動に参加する割合が68.7%となっており、50代、60代が低い数値となっているようですが、私の地域では逆で、60代、70代が多いので、40代がこれほど高い数値であることに驚いています。理由が分かれば教えていただきたいです。</p> <p>次に、11ページの「地域福祉の推進について」のところ、課題を抱えた</p>

ときの相談窓口や支援センターについて見聞きすることが増えたということは、地域福祉が推進したと捉えるより、福祉が必要な状況が増えたと捉えるべきことだと思います。福祉が必要な当事者になったことで、このような相談窓口などに気づくようになったということだと思います。反対に、「当事者ではないため意識していない」や、「周りで特に話を聞かない」などの回答は、福祉が必要な状況ではないということの表れかもしれません。肯定意見と否定意見という書き方は、プラスとマイナスのような印象がありますが、最終的に住民がどのように幸せになるかを追求するための計画だと思うので、幸せということに対して、どのように捉えるのか疑問に思いました。

また、14 ページの「防災マップや防災ネットワークなど災害時の支援体制が進んだ」という設問について、否定意見の中で「自治会の防災活動など何をしているか分かりにくい」とありますが、自治会の活動を理解していない人が多いと感じます。防災マップを活用した研修なども様々なところで実施されています。情報が届いて当たり前だと思っている人が多いと感じます。

最後に、15 ページの「高齢者や子どもの居場所となる拠点が増えた」という設問についても、拠点が増えることが必ずしも幸せに繋がるわけではないと思います。もちろん、子ども食堂の必要性はありますし、実際に増えています。また、オープンスクエアについても、受け入れ体制が整っていないまま多くの子どもを受け入れている状況があると感じています。たとえば、真夏にグラウンドでブルーシートを敷いて世話をするということもあるようです。つまり、拠点の中身を見ないまま数が増えたことが幸せに繋がるわけではないと思います。感想ですが以上です。

会長

感想ということですが、他の委員の皆さまや事務局から何かございますか。先に私から少しお話をさせていただきます。今回市政モニターアンケートの結果を見ていただいておりますが、以前に実施した市民意識調査の結果と比較すると少し違う結果になっている部分もあります。市民意識調査についても、回答をいただいている方たちなので、市政に関心がないわけではないですが、やはり市政モニターのほうがより関心がある方たちだと思います。

資料にも示されていますが、幅広い年齢層の方が市政モニターとして登録されていて、20代から90代の方が回答されています。この地域福祉に関わる政策だけではなく、枚方市の様々な政策について市政モニターアンケートを実施されていて、私も枚方市の他の審議会等でも政策の評価を見ていくときに参考値としていることもあり、非常に重要なアンケートだと思っております。このような様々な意見や数値をどのように分析して見ていくかということが重要になると思います。

事務局からも説明があるかもしれないですが、肯定意見や否定意見というのは、委員がおっしゃったような広い意味での幸せに対してプラス・マイナスと

<p>事務局</p>	<p>いうより、一つ一つの項目に対してとなるかと思います。事務局からは何かご ざいますか。</p> <p>市政モニターは市政に関心が高い方が多く、市民意識調査と比較すると、全 体を通じて、参加率や認知度なども高い結果となっています。委員が先ほど おっしゃったように、40代の参加率が高く、50代、60代が低いという点につ いては、事務局としても少し想定外の結果になったというのが正直な感想で す。その中で、今回のアンケートでは、校区コミュニティ協議会や自治会の活 動に参加している方も多くいらっしゃいますので、アンケートに例示している ようなお祭やイベント行事などに親子で参加している方が多く、40代の参加 率が高い結果になったのではないかと事務局としては考察しております。</p> <p>また、課題を抱えたときの相談窓口などについて、当事者になることで知る ということが幸せなのかという点も、いただいたご意見はごもっともだと思 います。地域福祉計画としては、「みんながいつまでも安心して地域で暮らせる ように支え合える地域をつくる」ということを基本理念として掲げておりま す。困ったときに、どこへ相談ができるかということを知ってもらい、いつ誰 がそのような状況に置かれたとしても、誰もが相談できる態勢を整えていく ことが非常に重要なことだと思っております。</p> <p>一方で、ご指摘いただいたように、肯定意見や否定意見だけでなく、取組み のことを知らないと回答された方も非常に多くいらっしゃいました。今回のア ンケートでは、SNSを通して知ったという声も多くありましたので、周知や 啓発については、今まで以上に積極的に、様々な方法でアプローチをしていく 必要があることも、あらためて認識したところです。</p> <p>また、災害の項目についても、自治会の防災活動が何をしているか分からな いといったご意見もありますが、自治会や校区コミュニティ協議会なども様々 な形で活動されておりますので、行政としても何か一緒に巻き込んでいくこ とができないかということも考えていきたいと思っております。また、ご自身で情報 を収集する力が少ない方もおられると思っておりますので、そのような方にも様々なア プローチをかけていくことも考える必要があると認識しております。</p> <p>全ての回答になっていないかもしれないですが、以上でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>40代の参加割合を見たときに驚きがありましたが、ご説明があったよう に、どちらかと言えば、イベント等を通じた地域活動への参加が中心というこ とで、地域で深く活動されている方たちからすれば、イベントに参加するだけ の場合と運営を担う場合では分けて考えられると思うので、担い手不足と捉え られることもあると思っております。一方で、どこに可能性を見出していくかとい うときに、今は深く活動していないかもしれないですが、都度参加しているよう な若い方たちにアプローチしていくなど、事務局からもご説明があったよう</p>

	<p>に、そのような人たちを見逃さないようにするということで、大事なご指摘をいただいたと思います。</p> <p>他によろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>市政モニターが、市政に関心が高い方が多いということは理解しましたが、それであれば、「取組みのことを知らない」という回答が、ほとんどの質問で4分の1以上あるということが悲しい結果だと思いますし、これは広報不足だけが原因ではないと思います。私は京都の大学に通っていたのですが、国道1号線を運転していると、「福祉と教育のまち ひらかた」と書かれた看板があり、枚方ってこういう町なのかと思った記憶がありますが、最近はそのような看板などもあまり目にしなくなったと思います。私たちの園でも、保護者活動がなくなってきたり、PTAがなくなってきたりという状況がある中で、実際に活動に携わる方が増えないと理解も進まないのではないかと思いますし、取組みを知らない、広報が進んでいないという回答が多いことは悲しい状況だと思いますので、頑張っていたきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>本日は市政モニターアンケートの結果について報告いただいておりますが、今後この地域福祉計画を進めていけるように、ご意見などもすぐに取り入れられたらいいと思いますが、なかなかすぐには進まない部分もあります。広報の課題もですが、やっていることがきちんと伝わっていないということもあると思います。</p> <p>先ほど説明もありましたが、地域福祉の場合は、今まさに必要な状況ではなくても、必要な状況になったときに、どこに相談したらいいのかを知っておくということが重要で、よく例えられるように、地域福祉は西洋医学のように症状に対応するというだけではなく、漢方のように予防していくと言われることもあります。そのような意味でも、今は自分に関係がないことであっても関心を持ってもらえるように、人はある程度メリットがあると関心を持ちやすくなりますので、行政だけの力ではなく、地域で活動されている方たちの声や力も生かし合えたらいいと思います。</p> <p>その他にご質問やご意見はいかがでしょうか。</p>
	<p>委員</p> <p>このアンケート結果もよくまとめられていて、今後の参考として活用されればいいと思います。しかし、先ほど委員が述べていたように、私たちが校区コミュニティ協議会や自治会などで活動していても、30代や40代の参加率がこれほど高いとは感じません。結局のところ、50代や60代がメインで活動している状況です。若い世代に協力を求めることはとても大変で、呼びかけてもなかなか応えてくれる人が少ないので、役員を務めたり実際に活動したりする方は固定化しています。地域活動やボランティア活動に参加していると回答した</p>

	<p>人を、もっと地域活動に関わってもらうように引っ張る方法を考えないといけないと思います。</p> <p>私も再犯防止の活動をしています、協力意向はあるものの実際に参加することは躊躇う人も多いです。また、参加意向はあるものの個人情報保護の問題で関わってもらうことが難しい場合もあります。保護司は法律に基づいて活動しているので仕方ないですが、担い手もどんどん減ってきているので、人員確保についても考えないといけないと思います。また、今回の地域福祉計画から新たに掲げられた再犯防止連絡会についてですが、教育委員会や警察を巻き込んで、そのような連絡会をつくることは必要だと思います。現在、どの程度話が進んでいるのか気になっています。何か動きはあるのか教えてもらいたいです。</p>
会長	<p>特に、資料 10 ページの「再犯防止について」、保護司として見えているところでご意見をいただきましたが、事務局から何かありましたらお願いします。</p>
事務局	<p>今回、地域福祉計画に地方再犯防止推進計画を包含し、再犯防止連絡会の立ち上げについて検討するという具体的な取組みとして掲げております。現状においては、再犯防止連絡会をどのような形で、何を目的とするのかというところをもう少し具体的にしていかなければならないと考えておまして、今年度中に保護司会とも打合せをさせていただき、また、保護観察所とも話をしておりますので、保護観察所や保護司会のご意見も伺いながら、どういう形で立ち上げていくのかを、まずは今年度中に固め、来年度以降さらに具体的に進めていきたいと考えております。</p>
委員	<p>堺市は、保護観察所や保護司会を含めて、協定を結んでいます、実際には従来からしていることと特に変わっていません。実際それ以上なにかするということも難しいですが、なにかできるとすれば、教育委員会や警察をもっと巻き込んでいくことだと思いますので、なんらかの形で取り組んでもらいたいと思います。</p>
会長	<p>実際に関わっておられるからこそ見えている課題や、本当に必要な協力や連携が取れていないということをご指摘いただきました。</p> <p>私は堺市に職場があり、堺市の福祉活動にも様々な形で関わっているのですが、先ほど委員よりお話があった、堺市と関係機関との連携協定については、外からはあまり見えにくいかもしれないですし、課題がすぐに解決できるようなものでもないのですが、このような仕組みができることで、動きやすくなっていると思います。</p>

	<p>例えば、私も直接関わっておりますが、更生保護にかかわる人材と、地域にかかわる人材を共同で検証していくということを今年度初めて実施できました。実施する中で、何が分かっていなかったか、何が課題かが見えてきます。手探りではありますが、そういった動きが以前よりもしやすくなったと思います。まだまだ本当にこれからではありますが、しっかり連携をしていくということが非常に重要だというご意見であったかと思えます。</p>
委員	<p>昨年 12 月、校区コミュニティ協議会に対して保護司の推薦依頼があり、地域としては重く受け止めていますが、地域で候補者を探すことはとても難しいことだと思っています。</p>
	<p>一方で、私たちが重視していることは、犯罪や非行にはしらないように子供たちをどのように健全育成するかというところで、この役割を担っているのが青少年育成指導員です。昔の青少年育成指導員は、パトロールのみではなく、課題を抱えた親子と面談などもされていたようですが、今はそのような活動はしていないと聞いています。保護司とは違う立場で、課題があるような子どもに寄り添って、その子が非行にはしらないような見守り方も必要だと思います。再犯防止も大事ですが、犯罪や非行にはしらないように子どもと関わっていくことが幸福な社会をつくるために必要だと思いますが、地域福祉計画の中に青少年育成指導員や青少年の健全育成について記載されていないので、どこかに入れていただけるといいと思います。</p>
会長	<p>被害者も加害者もつukらない地域をつくっていくということに繋がるご発言であったかと思えます。</p> <p>データを深読みすると様々な課題が見えてきますので止まらなくなりますが、次の案件もございしますので、まず、このアンケートについてご不明な点やもう少し詳しく知りたいなどがございましたらお願いします。</p>
委員	<p>市政モニターアンケートの回答者数のところで、年代別の人数は示されていますが、地域差ということもデータでは分かるのでしょうか。たとえば、A地区では良い意見が集中して、B地区では悪い意見が集中したとすれば、市としての平均は 50%程で、ある程度達成しているという結果になると思いますが、B地区の住民からすれば全然できていないと感じているので、そのあたり地域差というものがどの程度あるのかと思いました。</p>
会長	<p>とてもいい視点からのご質問だと思います。</p> <p>事務局からご回答をお願いします。</p>
事務局	<p>市政モニターアンケートの回答者については、それぞれの郵便番号のみが分</p>

	<p>かっており、深く分析をしていけば、そのような地域差についてもデータが出せるかもしれないですが、今回はそこまでの分析がまだできておりませんので、いただいたご意見を参考にして、今後は地域差などについても確認していきたいと考えております。</p>
会長	<p>実際に地域福祉活動を見ていくときに、枚方市では校区単位で様々な活動があるので、校区での状況が見えればいいといったご意見かと思えます。</p>
	<p>冒頭でも申し上げたように、今後評価していく際に、アンケートだけではできないところもあると思えますので、今日のように委員の皆様が様々な現場から見えていることや、アンケート結果の分析なども含めて、ご意見をいただくことが非常に重要だと思えます。</p>
	<p>他にご質問はよろしいでしょうか。ご質問がなければ、続いて案件1の2「地域福祉計画（第5期）の進行管理に係る関連事業について」、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">＜案件1の2について説明＞</p>
会長	<p>ただいま事務局より説明がありましたが、何かご意見等はございますか。</p>
委員	<p>事業は時代の変化に伴って、新しくしていかなければいけないと思えますので、10年、15年前につくられた事業を大事にして、そこに指標を当てはめていくようなことはやめたほうが良いと思えます。ここに挙がっている関連事業を見ると、もっと変えていく必要がある事業が入っているように思いました。</p>
事務局	<p>関連事業として設定している事業は、地域福祉計画を推進するための事業ではなく、各担当課が策定している計画や取組みのために実施している事業を、この地域福祉計画を推進するために関連している事業として選択しております。この関連事業につきましては、計画の進行管理を今後進めていく中で、このような取組みが必要なのではないか、こちらの事業のほうが適しているのではないかといったご意見をいただけましたら、適宜追加や変更も検討していきます。各事業の廃止や変更に関しては、各事業の担当課が取り組むものですので、地域福祉計画の関連事業として位置づけるべきではない事業などがあれば、またご意見をいただきたいと思えます。</p>
委員	<p>具体的な事業は挙げませんが、事業を設計した時点での考え方などが、課の体制や時代が変わっていく中でも見直されず、そのまま続けていくことが市役所ではよくあることだと思いますので、他の部や課からの意見を取り入れることで改善できるように頑張ってください。</p>

<p>会長</p>	<p>地域福祉計画は、高齢者や児童などの個別の計画とは違って、地域福祉に係る総合計画のような位置づけになるので、事務局から説明があったとおりなのですが、だからこそ先ほど委員からありましたように、関係する事業の担当課に様々な調整や連携を図っていくということがとても重要なことだと思います。他によろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>私たちは就学前施設を運営する団体として、保育園や認定こども園を運営していますが、地域でも相談会などを開催しています。資料 27 ページ、基本方向 2 の施策目標 3 「地域活動拠点への支援」のところで、成果指標でも「高齢者や子どもの居場所となる拠点が増えた」と挙げられていますが、ここに保育園や認定こども園、幼稚園などの就学前施設が入っていないことが寂しいと思います。私たちの団体でも、地域子育て支援拠点施設などがある中で、私たちもどのように地域での活動を増やしていくか、地域で困っている子どもたちをどのように支援するか、どうすれば早めに相談してもらえるかというところを考えて活動しています。今では 2 歳から幼稚園に行けるようになり、利用される子たちも低年齢化していますが、育休制度も良くなって、取得される方も非常に増えています。両親ともに取得されて、とても良い風潮になっているとは思いますが、その反面、家庭だけで困っていたり、相談するところがどこにもないという方も増えていると感じます。私たちは、子育てはもちろんですが、親育てもしていると思っていますので、この関連事業にも就学前施設のことを入れていただけると嬉しいです。</p>
<p>会長</p>	<p>これについて、事務局からどうでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>行政としては、社会福祉事業者や地域など、様々な接点を持ちながら取り組んでいるところですので、今ご意見をいただいた内容については、地域福祉計画の中にどのように盛り込むか、盛り込むべきなのかという点について、所管課と協議をしていきたいと思っています。</p> <p>資料 27 ページ「地域活動拠点への支援」の部分は、どちらかと言えばハード面の取組みが中心ですので、ご意見をいただいた内容については違う形で盛り込ませていただく可能性もございますが、まずは所管課とも協議をしていきたいと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>地域福祉の視点から、とても重要なご指摘であったと思いますので、ぜひご検討をお願いいたします。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>

委員	<p>資料 20 ページの「社会とのつながりをつくる参加支援の仕組みづくり」に関連して、私は地域活動支援センターを運営しており、作業所の時代から四十数年、七宝焼という活動を中心に、重度障害の方でもできるという信念を持って、生産活動や創作活動も続けてきました。しかし、制度の狭間で行き場のない方や、ひきこもり、重度障害の方など、支援に繋がらないような方なども受け入れられるメニューを作るように以前に指導が入りました。しかし、市やCSWの方から、そのような方が繋がれてくることはありません。私たちとしても、支援の狭間にある方が多くいるということが分かれば対応して受け入れますが、そのような繋ぎもなく、どうすればサービス利用していただけるか悩んでいます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。 事務局からご回答いただけそうでしょうか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。 ご質問いただいた点について、相談支援センターの活動に対する事業評価の細かい中身につきましては本分科会で議論する内容ではないと思いますので差し控させていただきますが、今の課題をどのように整理していくかということについては、担当の委員会にてしっかり議論させていただきたいと思います。 全ての方が幸福に過ごすためにどうするべきかという地域福祉の観点から、一つ一つしっかり議論していかなければならないと思いますし、ともに改善できるところは改善していきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>つながりづくり、参加支援ということで、どのような方たちにどのように参加してもらうかということ深く考えるきっかけになるようなご質問であったと思います。 地域福祉の動向で言えば、後見制度や身寄りのない方への支援など、国でも民法や社会福祉法の改正に向けて動いているところですので、こういった動向も踏まえて、事業を細かく見ていく必要性も今後出てくるかと思います。 その他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>今回挙げられている関連事業を見ると、行政は様々なことをされていると思いますので、1人でも多くの住民に関心を持っていただけるといいと思います。 アンケート結果のところに戻りますが、市政モニターは市政に比較的関心がある人が多いにもかかわらず、自分の地域のことがあまり分かっていないようにも思います。防災訓練などはどこの校区コミュニティ協議会もおこなっている</p>

	<p>るのに、知らないという回答が多く、市政のことだけではなく、身近な地域のことも勉強して経験してもらえたら、アンケートの答え方もまた少し変わっていくと思います。それぞれの肯定意見、否定意見はありますが、その中の1人、2人の意見が取り上げられると、私たち第三者から見たときに、皆がこのように考えているのかとってしまうので、それだけで終わるのではなく、そういった意見を参考にして様々な検討をしてもらいたいと思います。</p> <p>特に広報誌は非常に重要なもので、私の地域では回覧で回っています。広報誌以外にも、様々な回覧が回ってきますが、福祉関係の回覧などは見ていただきたいくてもあまり見てもらえません。その点、広報ひらかたは1軒ずつ配布されますし、見やすいように作られているので、見ている住民も多く、とても大事なツールだと思うので、これからも頑張ってくださいと思います。</p>
会長	<p>他によろしいでしょうか。</p>
委員	<p>この関連事業について、令和7年度の実績を入れて次回の分科会で報告いただくことになるとと思いますが、前回の分科会でも審議したように、量的な指標だけでなく質的な指標も見えていくということだったと思うので、そのような見方で進めていただきたいと思います。</p> <p>社会福祉協議会の視点から言えば、CSW についてですが、8050 問題など地域の課題もとても複雑化、複合化しており、支援も多岐にわたるので、一つ一つのケースをととても丁寧に対応しなければいけないですし、一回で終わらないことも多いので、件数だけではなく、支援の中身も見えていけるようにしていただきたいと思います。</p> <p>また、CSW 自身も様々な知識が必要ですので、ただ人数を配置するだけではなく、社会福祉協議会としても、スキルアップや人材育成にも取り組んでいかなければいけないと思います。</p>
会長	<p>とても大切なご指摘だと思います。</p> <p>この点について、事務局からなにかございますか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>おっしゃっていただいたように、前期の第4期計画においては、事業実績として各関連事業の細かい部分までお示ししていましたが、第5期計画においては、設定した成果指標について見ていくため、各事業の成果という点については評価いただかないものとしております。</p> <p>各関連事業の取組実績の部分については、どのようなプロセスや取組みを経たうえで、令和7年度についてはどのように事業展開をしたかを記載し、本分科会委員の皆様にもお示しをし、事業の数値だけではなく中身の部分もご確認</p>

	<p>いただけるように報告したいと考えております。</p> <p>また、市政モニターアンケートの部分で委員からもご意見いただきましたが、パーセンテージだけでは見えない部分や、一部の意見が代表ではないということも、本当にそのとおりだと認識しておりますので、市民や委員の皆様からいただいたご意見を参考としながら、本市としても地域福祉の推進を図ってまいりたいと思います。</p>
会長	<p>他によろしいでしょうか。</p>
委員	<p>資料 30 ページの「乳幼児と思春期の子どもたちの交流の推進」について、公立保育園だけではなく私たち民間の保育園でも同じような取組みをしています。民間では全校やっているのではないかと思いますし、私たちの園でも、中学生が 10 人ほど、高校生も 3 人ほど来てくれるときもあります。同じ取組みをしているにもかかわらず、なぜ公立だけ取り上げるのかと思うので、私立も入れていただきたいです。</p> <p>また、単位が「校」だと少なく感じるので、「人」にしたほうがいいのではないかと思います。</p>
会長	<p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>知識不足の点があり大変申し訳ございませんが、私立の保育園でも同様の取組みをされているということですので、こちらについても担当課と、単位の変更なども含めて協議したいと思います。</p>
会長	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>いただいたご意見の集約につきましては、私に一任いただいてよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">【異議なしの声】</p>
会長	<p>それでは意見の集約につきましては一任いただきます。</p> <p>その他、事務局から連絡事項はございますか。</p>
事務局	<p>本日は、熱心なご審議を賜り、ありがとうございました。</p> <p>来年度の本分科会につきましては、本日もご審議いただいた関連事業の実績報告と、来年度実施予定の市政モニターアンケートの結果報告をさせていただきたく、冬頃の開催を予定しておりますので、よろしく願いいたします。</p>

	<p>また、本日の分科会を持ちまして、亀井委員、末岡委員、田村委員、宮川委員がご退任となります。長きにわたって委員をお勤めいただき、誠にありがとうございました。末岡委員につきましては、本市が定める在任期間が満了となります。末岡委員より、代表して一言、ご挨拶を頂戴したいと思います。それでは、末岡委員、よろしく願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p style="text-align: center;"><挨拶></p>
<p>事務局</p>	<p>末岡委員、ありがとうございました。事務局からの連絡事項は以上でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、これもちまして、令和7年度第2回枚方市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会を終了します。 皆様、お疲れ様でした。</p>